

江田島市まちづくりアンケート調査（市民アンケート調査）の結果（あらまし）

【アンケート調査の実施概要】

■調査の目的

本アンケート調査は、第2次江田島市総合計画が地域の実情や個性を反映し、幅広い協力と参加を得ながら、まちづくりを推進していくものとなるためには、市民の意見・意向を反映していくことが大切と考え、幅広く市民の意向などを把握することを目的とします。

■調査対象 16歳以上の江田島市民のうちから、2,000人（無作為抽出）

■調査日程 配布：平成25年8月7日（水） 回収締切：平成25年8月30日（金）※平成25年9月6日分まで受付

■アンケート回収状況 回収数：693票 回収率：34.7%

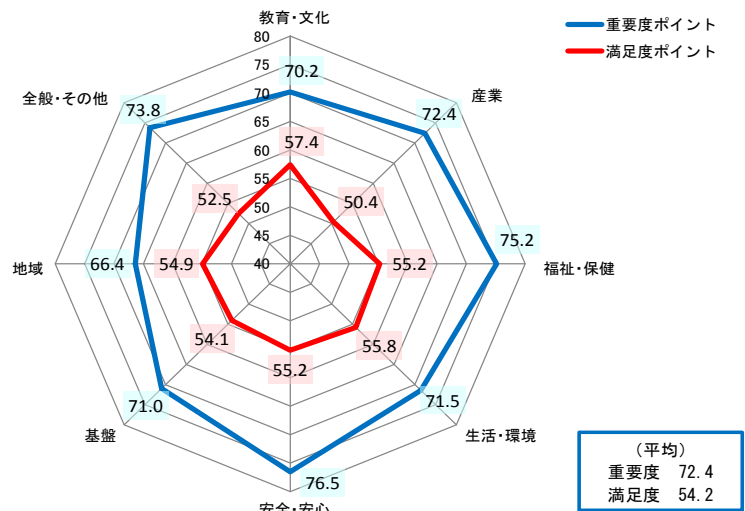
1 施策（江田島市の取組）に対する市民からみた重要度・満足度

○市民からみた各施策（68項目について聞いています。）の満足度（以下「市民満足度」といいます。）を、教育・文化、産業、福祉・保健、生活・環境、安全・安心、基盤、地域、その他の部門別にまとめ、その平均を求めると、いずれも50点台となっています。また、個別的にみると、60点（100点満点とした場合）を超えているのは「上水道の整備」だけとなっています。それ以外は50点台が中心で、一部は40点台の項目があります。

○市民からみた各施策の重要度（以下「市民重要度」といいます。）については、地域以外の部門では70点（100点満点とした場合）を超え、特に安全・安心と福祉・保健で高くなっています。また、個別的にみると「医療機関の充実」、「災害に備えた危機管理体制の構築」、「学校教育の内容」は80点を超えています。

○このように、市民満足度と重要度に乖離が生じており、市民満足度のアップが求められます。

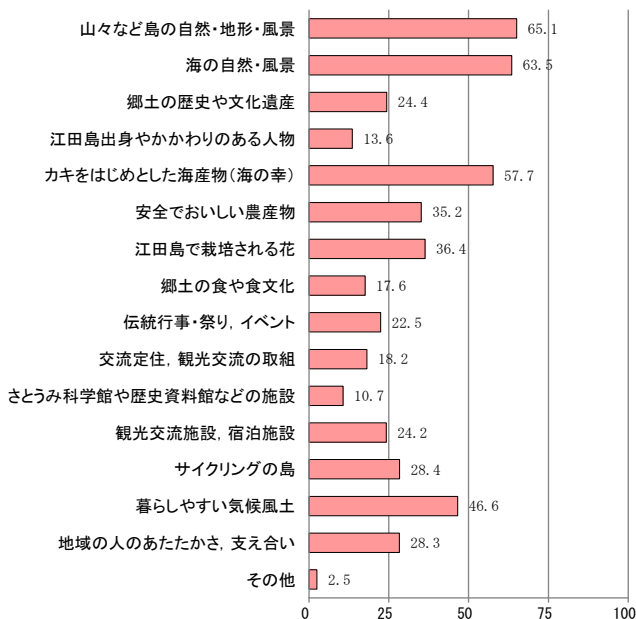
図 分野別の重要度ポイント、満足度ポイント



2 自慢できるもの・こと、まちづくりに生かしたい資源

○「島の自然・地形・風景」が65.1%、「海の自然・風景」が63.5%、「カキをはじめとした海産物」が57.7%と上位3番目までを占めています（複数回答）。

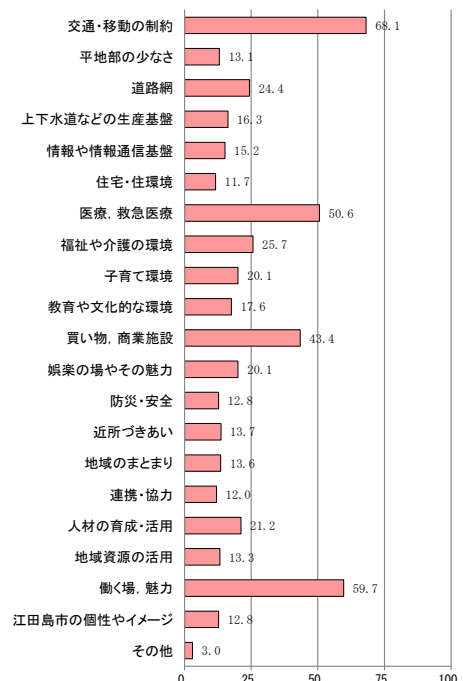
図 江田島市の自慢できるもの・ことなど



3 問題点

○「交通・移動の制約」が68.1%、「働く場、魅力」が59.7%、「医療、救急医療」が50.6%と上位3番目までを占め、次いで「買い物」も43.4%と多くなっています（複数回答）。

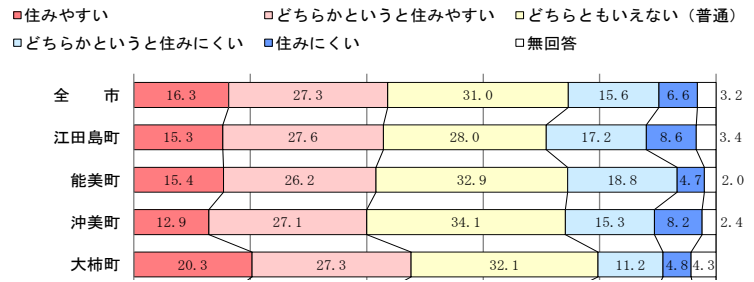
図 江田島市の問題点



4 江田島市の住みよさ

- 「住みやすい」(16.3%)と「どちらかというに住みやすい」(27.3%)を加えた43.6%がプラス的な評価といえます。一方、「住みにくい」(6.6%)と「どちらかというに住みにくい」(15.6%)を加えた22.2%がマイナス的な評価といえます。
- なお「どちらともいえない(普通)」が31.0%を占めています。

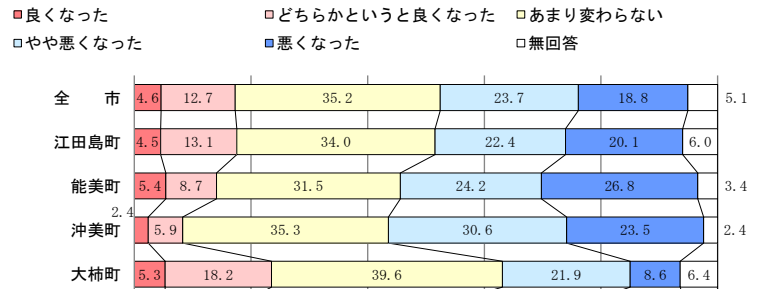
図 現在の江田島市の住みよさ



5 江田島市のスタート時期(10年前)と比べた評価(良くなったかどうか)

- 「良くなった」(4.6%)と「どちらかというに良くなった」(12.7%)を加えた17.3%がプラス的な評価といえます。一方、「悪くなった」(18.8%)と「やや悪くなった」(23.7%)を加えた42.5%がマイナス的な評価といえます。
- なお「あまり変わらない」が35.2%となっています。

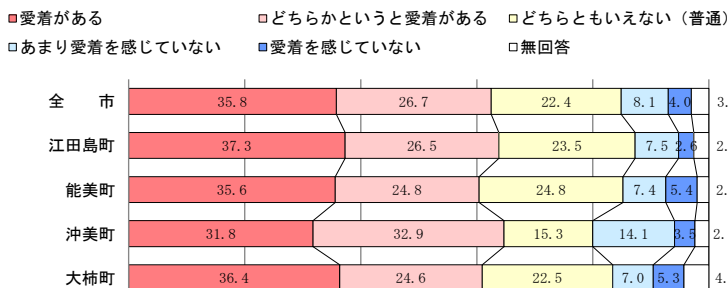
図 江田島市の全体的な評価



6 江田島市への愛着

- 「愛着がある」(35.8%)と「どちらかというに愛着がある」(26.7%)を加えると62.5%になり、一方、「愛着を感じていない」は4.0%、「あまり愛着を感じていない」は8.1%にとどまっています。

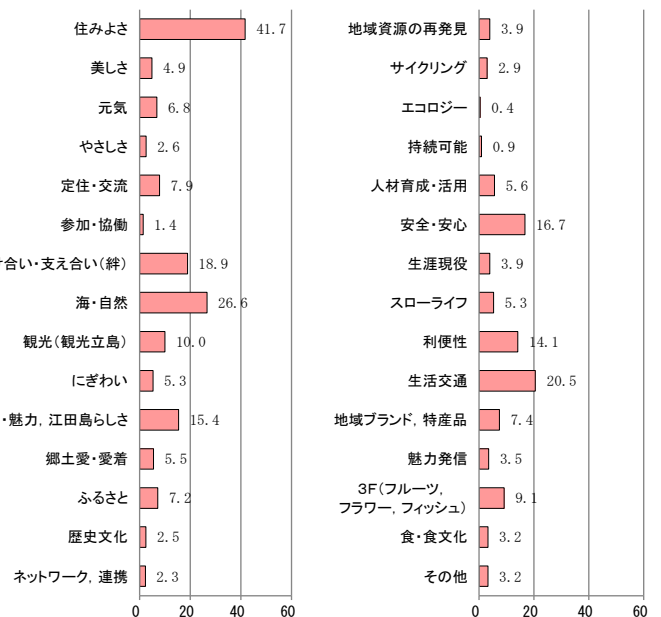
図 江田島市への愛着



8 これからのまちづくりのキーワード

- 「住みよさ」が41.7%と1番目となり、次いで「海・自然」(26.6%)、「生活交通」(20.5%)となっています。
- この他、「助け合い・支えあい」、「個性・魅力・江田島らしさ」、「安全・安心」、「利便性」が上位となっています。

図 これからのまちづくりのキーワード



7 定住意向

- 江田島市に「ずっと住み続けたい」は44.7%、「当分の間は住み続けたい」は26.8%となり、一方、「市外に移り住みたい」は9.2%となっています。

図 居住意向

